



す。ただそこからが問題です。なぜ自分がそのテストで点が悪かったのか？なぜその問題が解けなかったのか？それらを解決できる人が、どんな力をつけていくと思います。何もさっぱり分らない、問題を1人で考え込むのではなくて、どんどん先生に質問すればよいのです。そして今度また同じような問題がでた時に解ければいいのです。私がした勉強はというと、現役の時と浪人の時とはかなり違いました。現役の時はいくらとただひたすら、テストの点数と判定にこだわりました。それが良ければ、それでよしとし、悪ければ自分はバカだと思い込むだけでした。テストの見直しをほとんどしなかったのです。その点浪人の時は、テストで分からなかった問題や、とにかく少しでも理解できない問題は必ず先生や友達に聞いて完璧に理解



するようにしました。物理、化学などはちよつとしたことが分からないために全く問題が解けなかったりするので、結構恐ろしいものです。まあいろいろと勉強のやり方はありますが、無理のない勉強ペーイスを作ってください。人間やるうと思えば1日10時間ぐらい勉強できますが、果たして毎日続けられるかということになると絶対無理です。

最後に私が言いたいことは高校生活を決して勉強だけの生活で終わってほしくないということ。部活、恋愛などいろいろなことを高校時代に経験することは、これから先生きていく上で何物にもかえられない自分だけの貴重な財産になると思うからです。

受験記

平成20年卒

京大物理学部

谷口 拓紀

受験記を書くことになりましたが、文章を書くことは苦手なので僕が1年生の時の事から時間の流れに沿って書きたいと思います。

1年の頃は、通学時間が長くなったことや部活で忙しく1、2学期はどうにか英語・古文の予習はしていたものの、3学期は知らない英単語を電子辞書で調べるだけ。けど授業はきちんと受け、分かなければ辞書を引くなど、良く言えば授業完結型と言えるかもしれません。学校外では週3で塾に通い、ある程度の勉強時間は確保してい



ました。

2年の頃には、本格的に部活動に取り組み勉強にはほとんど手をつけられませんでした。冬休み頃には受験を気にして、化学式を覚え直しました。また3月末の部の定期演奏会を終え、春休みには簡単な30計算の練習をしました。僕は化学が苦手でしたが、実際、物理化学が苦手な人はその基礎知識を3年春までにどうにかしておくとういと思っています。

ここから受験本番、3年ですが、大切なことは生活パターンとおおまかな計画だと思っています。また僕個人の話ですが、僕は朝方なので21時に寝て3時に起きるとい生活生活心がけました。これで塾での2時間と朝の3時間を勉強に充てることができました。また、1学期のうちは、授業の予習を丁寧に行うことからはじめて、化学セミナーの練習問題や物理のリードの基本問題を解き今までの復習に充て、夏休みは徹底的に化学・物理の重要問題集をこなしました。これで化学の実力テストの点数が2倍に。これは僕も驚きましたが、誰でもやればできることだと思えます。そして、朝日祭のある9・10月は勉強に集中で来ないと思つたので、古文単語や英単語を覚えることにしまし



た。そしてその後で赤本で物理・化学の過去問をしました。これはすこし遅めかもしれませんが、集中できる時期にするのがよいと思います。また僕にとってセンター試験は1次選抜のみ使用だったのでセンター試験の時期には、少しむずかしい数学の問題を、時間をかけて解きました。センター試験は無事終了。前期補習はかなり内容の濃い授業なので十分活用するとよいと思います。また、2次で国語や英作文のある人は先生に添削してもらつとよいです。

受験において得意科目を伸ばすことも大切ですが、苦手科目をなくすことが必須です。それも3年の夏休みのうちにしておくとういと思えます。それでは、自分を信じて頑張ってください。